



エコカーワールド2008  
に行ってみよう!



洞爺湖に  
「エコ・ギャラリー」がオープン

大気汚染防止や地球温暖化対策に有効な低公害車（エコカー）の普及促進を目指して、今年も「エコカーワールド」が開催されます。このイベントは昭和61年度から開催されており平成20年度で23回目を迎えます。今年は、G8環境大臣会合の関連イベントとして神戸で開催されるほか、6月の環境月間に横浜でも開催されます。

5月17日（土）、18日（日）に神戸メリケンパークで開催された「エコカーワールド2008 in 神戸」では、最新のプラグインハイブリッド車などエコカー約90台を集め、展示や試乗を行うとともに、三宮と元町からエコカーの無料シャトルバスが会場間を運行しました。6月7日（土）、8日（日）に開催される「エコカーワールド2008 in 横浜」でも、神戸同様にエコカーの展示や試乗が行われ、桜木町よりハイブリッド車などの無料シャトルバスが運行されます。自分のエコドライブ度が分かるエコドライブシミュレーターなど、エコカーに関するさまざまな体験ができるこのイベントに是非ご参加ください。



環境問題が主な課題となる「北海道洞爺湖サミット」。その開催を記念して、支庁洞爺国立公園洞爺湖ビジターセンターの敷地内に、「地球温暖化」、「生物多様性」、「3R」など環境問題に関する展示を行う仮設の環境学習施設「エコ・ギャラリー」が6月1日から8月31日まで開設されます。その他の展示テーマとしては、温暖化対策とリサイクルをからめて、廃木材からのバイオエタノール製造と活用や、日本の公害克服の歴史などを紹介します。また企画展示コーナーでは、各種イベントが随時開催されます。施設内では、再利用が可能な段ボール材を立体的に組み合わせて使用する「えこぼん」が展示されるなど、環境配慮と展示を融合した点が注目です。大人から子ども、外国からの来訪者までが楽しみながら環境問題を学べる展示になっています。

エコ・ギャラリーについてのお問い合わせは、北海道地方環境事務所（TEL：011-251-8703）まで。

映画館も28℃設定。  
4年目のクールビズ

クールビズの推進に向けて、松竹映画との連携により、映画『ゲゲゲの鬼太郎 千年呪い歌（実写版）』の上映劇場で冷房を28℃に設定する取り組みがスタートします。映画館でのこのような本格的な取り組みは、今回が初めて。クールビズは、ノーベル平和賞を受賞したIPCC議長であるパチャウリさんも、ライフスタイルの見直しの先進的な好事例として取り上げるなど、世界が注目しているキャンペーン。このほか、百貨店協会加盟の約300店舗でも、7月7日から1か月間冷房緩和の取り組みが行われるなど、商業施設でのクールビズも今年本格化しそうな気配です。

なお、クールビズの皮切りとして、環境省では、『ゲゲゲの鬼太郎』上映劇場28℃設定のプレス発表会と合わせて、クールビズファッションショーを実施します。映画にちなんだスペシャルゲストも来るとのことで、大注目です。

妖怪映画を観てヒンヤリして、少しでも室内温度を下げてもらいたい……そんな思いが込められたこの取り組み。今年の夏は日本中がクールになってほしいものです。



ライトダウンでCO<sub>2</sub>削減

夜間照明によって、煌々<sup>こうこう</sup>と照らし出される日本列島。宇宙から送られてきた地球の画像を見ると、そんな姿が浮き上がってきます。こうした照明機器を見直すだけで、私たちはCO<sub>2</sub>を大幅に削減することができます。例えば、電球形蛍光灯。これまでの白熱灯と同様の色味と明るさを維持しながらも、80%も省エネで、しかも10倍長持ちします。LEDによるダウンライトに替えれば、さらに省エネ。デパートやスーパーなどでは、照明器具による電力消費が全体の約3割～4割を占めるだけにその効果は絶大です。

環境省では、こうした「あかり」の観点から、温暖化問題について考えてもらおうと、家庭や施設のネオンサインなどを一斉に消灯するライトダウンを広く呼びかけています。6年目の今年は、6月21日（夏至の日）と7月7日（北海道洞爺湖サミットの初日）の両日に実施します。CO<sub>2</sub>削減アクションのきっかけづくりとして、ライトダウンキャンペーンに参加しませんか？ 参加登録は全国地球温暖化防止活動推進センター（www.jccca.org）までご連絡ください。

